自然災害（羽越災害）パネル展を見て

4月28日から5月4日・ポポロ

3年　氏名 稲野 なつ姫

パネル展を見て、最初に思ったことは、「怖い」でした。山形県全域で、このような大規模な洪水が30年ほど前にあったと考えると、「どんなに怖いんだろう」と思えます。水が全てを壊し、のみこみ、さらってゆく…。今回あらためて、水の怖さを思い知りました。羽越水害を教訓として、今は、堤防が強化されたりしていますが、それでも、洪水は起こります。コンクリートだらけの町は、すぐにのみこまれる気がします。これからの私達は、災害に常に備えて、非常時に行動できるようにしなければいけないと思います。準備は大切です。

資料の一部・新聞記事など貼ってください。



図143　腰まで冠水した舘山口町